

令和元年版

名古屋市

青少年交流プラザ年報

子ども青少年局

目 次

I	目的	1
II	経緯	1
III	施設のあらまし	
1	青少年交流プラザ（本館）	
①	施設概要	2
②	平面図	3
2	青少年宿泊センター（分館）	
①	施設概要	4
②	平面図	5
IV	平成 30 年度事業基本方針	
1	目標	6
2	事業推進の具体的な方向性	7
V	平成 30 年度事業報告	
1	人につながる支援	8
2	地域・まちにつながる支援	12
3	地域・まちに働きかける支援	16
4	その他	17
VI	平成 30 年度利用状況	
1	青少年交流プラザ(本館)	19
2	青少年宿泊センター(分館)	21
VII	参考資料	
1	名古屋市青少年交流プラザ条例	
2	名古屋市青少年交流プラザ条例施行細則	

I 目 的

社会性・主体性に富み、人間性豊かで活力あふれる青少年の育成を図ることを目的とする。

II 経 緯

平成 15 年に「次世代育成支援対策法」が制定され、地方公共団体の次世代育成支援対策を迅速かつ重点的に推進することとされた。名古屋市においても平成 18 年度から、少年から青年までを次世代育成の対象と位置づけ、次世代育成を総合的かつ機動的に進めるための新局として「子ども青少年局」が新設された。青年の家（北・瑞穂・熱田・中村）及び宿泊青年の家の所管も教育委員会から子ども青少年局へと移された。

また、「名古屋市次世代育成行動計画（なごや 子ども・子育てわくわくプラン）」が策定され、「青少年交流プラザ」の開設もプランに位置付けられた。

こうした中、平成 11 年度に「名古屋市青年の家運営審議会」から答申を受けて以来、進めてきた都市型青年の家の統廃合（北・瑞穂・熱田・中村青年の家の廃館）が平成 18 年度をもって終了し、平成 19 年度に北青年の家の跡地に青少年の自立支援を含めた青少年のための総合的な施設として「青少年交流プラザ」が開設された。

平成 21 年度からは、「宿泊青年の家」を「青少年宿泊センター」に名称変更し、青少年交流プラザの分館と位置付けるとともに、同センターに指定管理者制度を導入した。また、平成 26 年度からは分館を活用した事業も含め本館である「青少年交流プラザ」にも指定管理者制度を導入した。

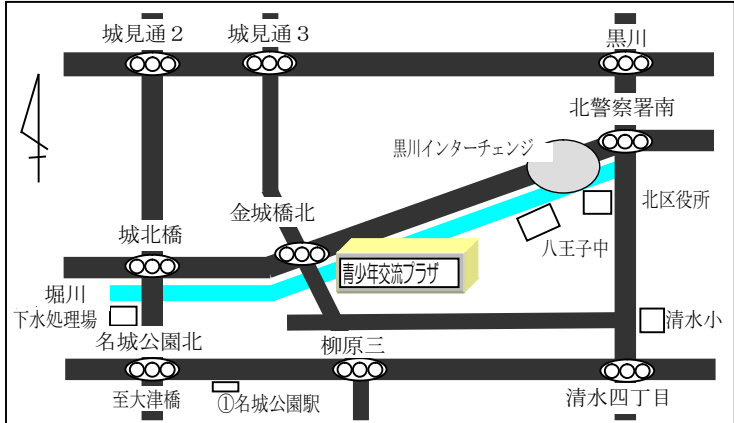
また、青少年交流プラザで実施する事業を総合的かつ効果的に推進するため、平成 28 年度末の本館及び分館の指定管理期間の終了に合わせ、本館と分館の一体的な管理運営を行う指定管理者の公募及び選定を平成 28 年度に実施した。

平成 29 年度からは、施設運営にあたって特に推進していく事項として、（１）青少年の交流の拠点、（２）青少年の情報発信拠点、（３）本館・分館の一体的・総合的な事業の推進、（４）青少年の育成・支援の循環、（５）青少年の力をあらゆる場面で活かした運営、という 5 つの方向性を示し、青少年の居場所として人や情報が多く集まり、青少年が様々な学びや経験を得てあらゆる場面で力を発揮できるよう、本館と分館の一体的・総合的な運営を開始した。

Ⅲ 施設のあらまし

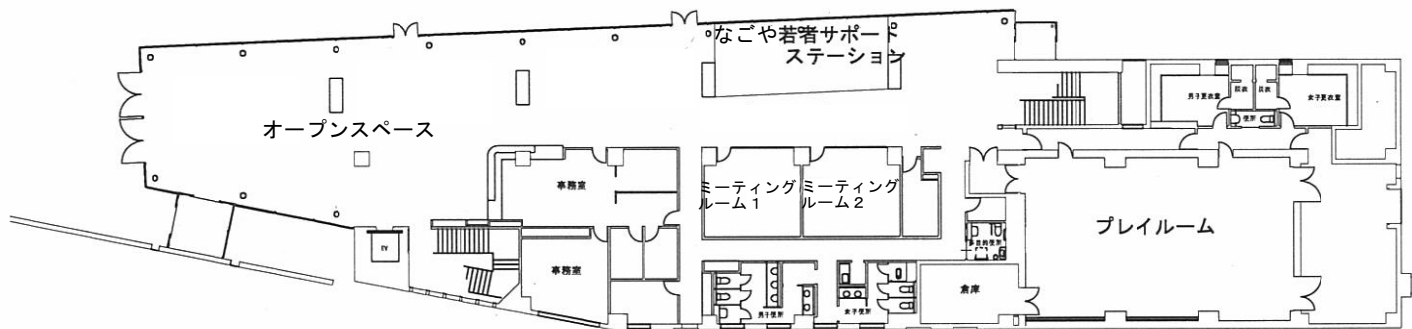
1 青少年交流プラザ（本館）

① 施設概要

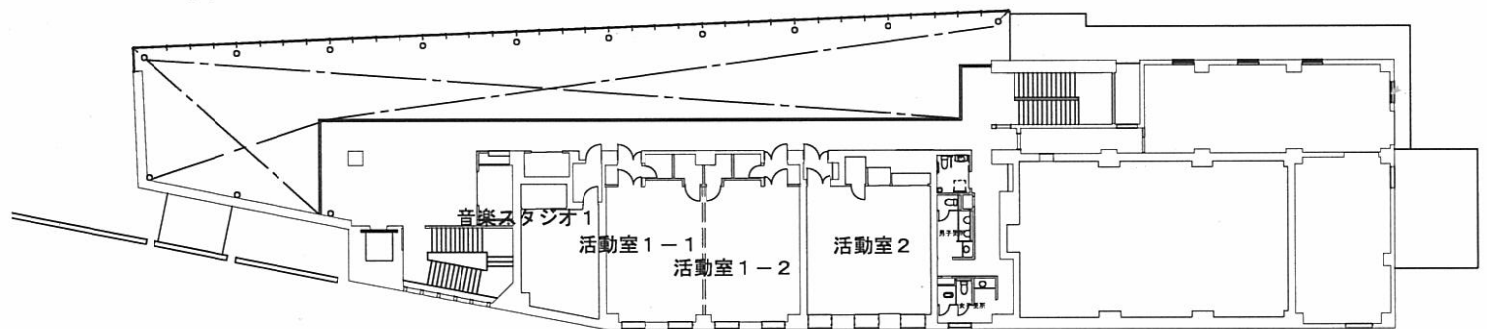
名称	名古屋市青少年交流プラザ（愛称：ユースクエア）					
所在地	〒462-0845 名古屋市北区柳原三丁目6番8号					
電話・FAX番号	（052）991－8440・（052）991－8441					
メールアドレス	yousquare758@zm.commufa.jp					
ホームページ	www.yousquare.city.nagoya.jp/					
開館年月日	平成19年7月7日					
開館時間	9：00～21：30（有料施設の利用は9：30～21：30）					
休館日	毎週月曜日（月曜日が休日の場合は、その週の最初の平日、小中学校の夏休み期間は臨時開館あり） 12月29日～翌年1月3日					
建物の構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上3階建					
敷地面積	2,912.17㎡					
建物延面積	2,294.97㎡					
総工費	873,434千円					
施設内容 （部屋名・面積・定員）	階	部屋名	面積	定員	その他施設	
	1階	ミーティングルーム1	31.19㎡	16人		
		ミーティングルーム2	31.19㎡	16人		
		プレイルーム	169.81㎡	120人	更衣室・シャワー室	
	2階	音楽スタジオ1	34.78㎡	10人		
		活動室1	区画する場合	48.89㎡	15人	更衣室
			区画しない場合	97.78㎡	30人	更衣室
		活動室2	65.68㎡	20人	更衣室	
	3階	音楽スタジオ2	34.78㎡	10人		
		活動室3	区画する場合	48.89㎡	15人	更衣室
			区画しない場合	97.78㎡	30人	更衣室
		活動室4	65.68㎡	20人	更衣室	
その他の施設	1階 オープンスペース		なごや若者サポートステーション			
	駐車場		31台（身障者用1台含む）			
付属設備	プレイルーム	舞台・照明・音響設備一式、ピアノ、キーボード等				
	音楽スタジオ	ドラムセット、アンプ、キーボード、マイク等				
付近図					最寄り駅 地下鉄「名城公園」下車 ①番出口北東へ 約500メートル	

平 面 図

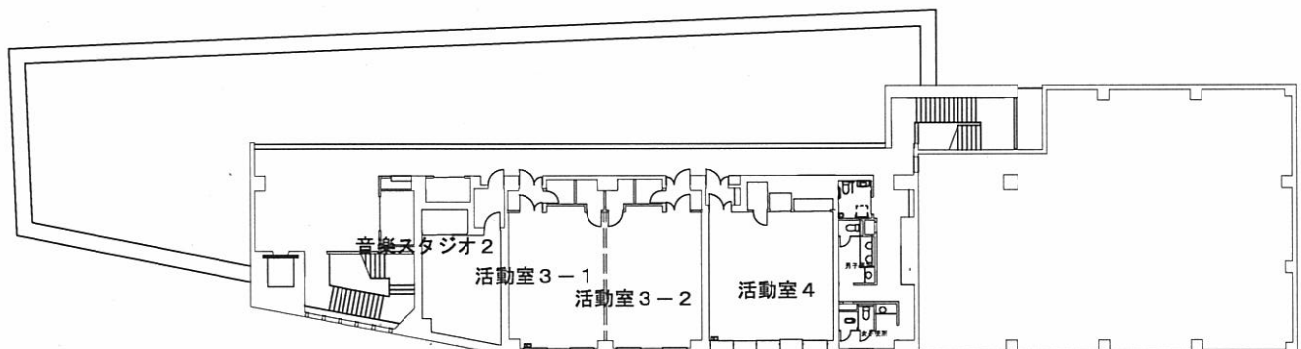
1 階



2 階



3 階



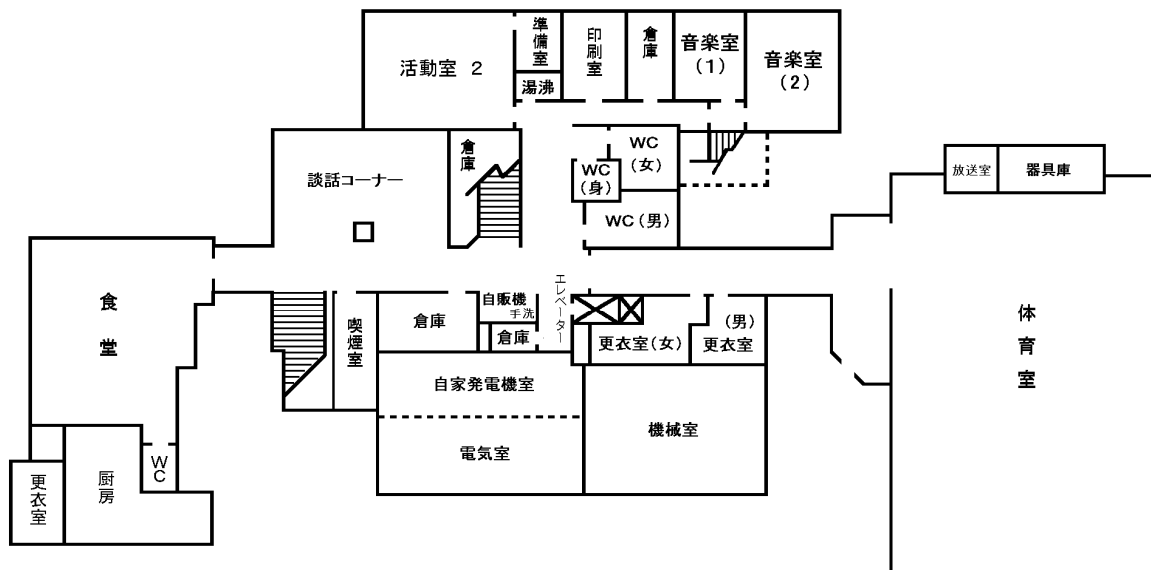
2 青少年宿泊センター（分館）

① 施設概要

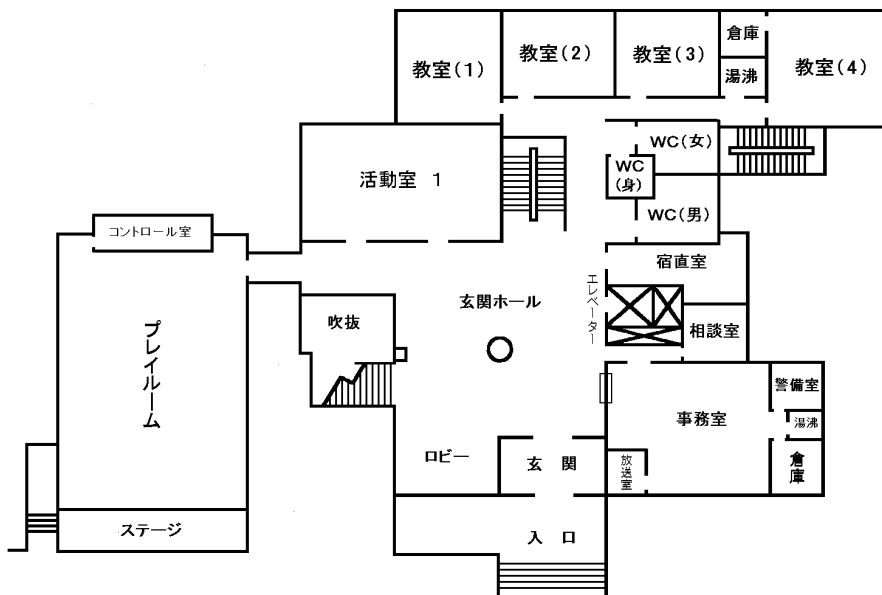
名称	名古屋市青少年宿泊センター								
所在地	〒459-8001 名古屋市緑区大高町字蝸池4番地の6								
電話・FAX番号	(052) 624-4401・(052) 624-4403								
メールアドレス	shukusen@mc.ccnw.ne.jp								
ホームページ	www.yousquare.city.nagoya.jp/shukusen/								
開館年月日	平成21年4月1日（宿泊青年の家としては、昭和58年6月5日）								
開館時間	9：00～21：00 ただし、宿泊室利用は16：30～翌日の9：00								
休館日	月曜日（休日は除く）、休日の翌日（土・日・休日は除く）、 12月29日～翌年1月3日 ※原則として小中学校の夏休み、冬休み（12月29日～翌年1月3日は除く）、春休みは無休で開館								
建物の構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上4階建								
敷地面積	5，301.23㎡								
建物延面積	3，430.07㎡								
総工費	971，986千円								
施設内容（部屋名・面積・定員）	階	部屋名	面積	定員	階	部屋名	面積	定員	
	1階	活動室2	70.38㎡	30人	3階	大浴室	51.06㎡		
		音楽室1	26.87㎡	12人		小浴室	29.64㎡		
		音楽室2	38.47㎡	15人		301(洋室)	41.53㎡		6人
		談話コーナー	72.77㎡			302(洋室)	26.61㎡		6人
		印刷室	16.82㎡			303(洋室)	26.61㎡		6人
		更衣室（2室）	44.08㎡			304(和室)	12.5畳		6人
		体育室	567.25㎡	500人		305(和室)	12.5畳		6人
		食堂	86.32㎡	60人		306(和室)	42畳		20人
	2階	教室1	37.73㎡	24人	4階	宿泊室	401(和室)	6畳	3人
		教室2	26.61㎡	14人		402（〃）	6畳	3人	
		教室3	26.61㎡	14人		403（〃）	12.5畳	6人	
		教室4	52.56㎡	36人		404（〃）	12.5畳	6人	
		活動室1	80.19㎡	30人		405（〃）	12.5畳	6人	
		プレイルーム	187.20㎡	120人		406（〃）	12.5畳	6人	
		相談室	13.14㎡			407（〃）	21畳	10人	
		玄関・ロビー等	337.59㎡			408.9（〃）	42畳	20人	
					410（〃）	21畳	10人		
					—	宿泊室全体定員		120人	
駐車場				30台（身障者用1台含む）					
付属設備	音楽室2	グランドピアノ							
	プレイルーム	アップライトピアノ							
付近図	 最寄り駅 JR「南大高」下車 東口より北東へ 約800メートル								

名古屋市青少年宿泊センター平面図

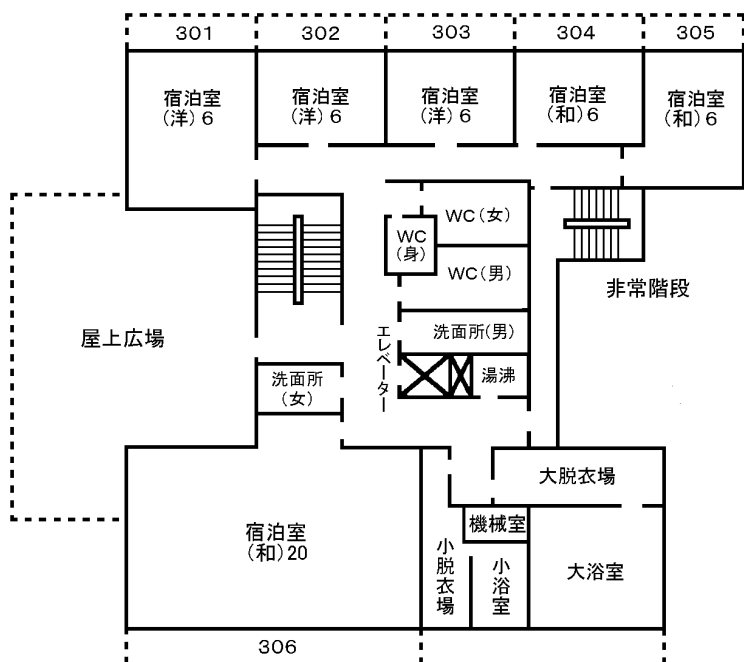
1 F



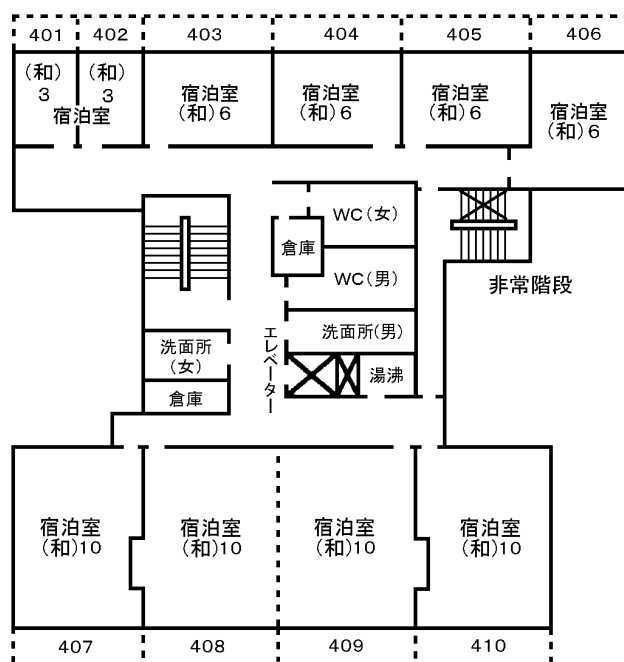
2 F



3 F



4 F



Ⅳ 平成30年度事業基本方針

1 目標

社会性・主体性に富み、人間性豊かで活力あふれる青少年の育成を図るため、社会参加、世代間交流等の多様な体験・交流を取り入れた事業を行うことを通して、地域やまちで活躍する青少年の育成を目指した事業を展開する。

2 事業推進の具体的な方向性

一層目の「人につながる支援」、二層目の「地域・まちにつながる支援」、三層目の「地域・まちに働きかける支援」、という三層にわたる支援を具体的に展開し、青少年が社会的に自立するために発達段階に応じた切れ目のない連続的、重層的な支援を進める。

(1) 一層目：人につながる支援

青少年が他者との関わりの中で受け止められ、安心して過ごすことができ、活動できるよう支援する。

① 青少年の居場所づくり

青少年が気軽に立ち寄り安全に安心して過ごすことができるよう、居場所としての環境整備や児童館における「中高生居場所づくり事業」等との連携を図る。

また、一定期間オープンスペースの管理を青少年に委託し、青少年による居場所づくりを行うことで、自主性や社会性等を育むとともに魅力的な施設づくりを目指す。

② 人につながるワークショップ

個々の青少年が自己を認め大切に、他者とのかかわりの中で自信を持って生きていくことができるよう支援する。

青少年が自己や他者を理解したり、コミュニケーション力をつけたりして、人とつながる素地を作るための支援をする。

③ 若年者自立支援事業

若者が就労に必要な能力を身につけることを支援する。

青少年が他者と関わりながら様々な体験や活動をすることで、自立することを支援する。

(2) 二層目：地域・まちにつながる支援

青少年が地域やまちに接点を持ち、地域やまちの取り組みに参加することを支援する。

① 青少年育成サポーターの養成

プラザが実施する事業に関わる中で、地域やまちにつながり、地域やまちの取り組みに貢献する青少年育成サポーターを養成する。

② プラザ事業への参加・参画事業

青少年の社会参加体験活動や青少年相互の交流、青少年と他の世代との交流などのプラザ事業を、青少年が主体的に企画運営することを通して、地域やまちとつながりながら参加・参画できる機会を提供する。

③ 地域活動への参加・参画事業

青少年の力や活動を生かして、地域や商店街等の事業や取り組みに関わり、参加・参画することで、他世代との交流を図り、地域活動やまちづくりに貢献することを支援する。

(3) 三層目：地域・まちに働きかける支援

青少年が主体的に参画したり、地域やまちに対する意見を表明したりすることを支援する。

① 課題発見・参画ワークショップ

青少年が地域やまちの一員として、よりよい社会形成に向けた課題解決や提案をするなど主体的な参画を促す。

② 青少年の自主活動推進事業

青少年の自主的な活動を支援するとともに、地域活動やまちづくりに貢献することを支援する。

(4) その他

① 広報・情報事業

青少年交流プラザの情報や青少年の活動の様子を発信する。

青少年に関する情報を収集・提供し相談に応じる。

プラザの事業を展開する上で必要となる青少年の課題やニーズ等を把握する。

② 各種団体・施設等との連携

青少年への三層支援において、児童館を始めとした各種施設や団体等と連携・協働する。

青少年育成に関する研修会を企画、実施する。

V 平成30年度事業報告

I 人につながる支援【一層目】

1 青少年の居場所づくり

事業名	実施日	概要	回数	企画・運営 青少年	参加・活動 青少年	一般 参加者	参加者 合計
居場所としての環境整備		サッカーゲームを始めとしたゲーム類の設置			(2,915)		(2,915)
YYP48(ユースカフェやろまいプロジェクトチーム)	4月7日(土) ～3月10日(日) (原則第1・3土曜日)	青少年の居場所としてユースカフェ運営キャストに加わるための準備。職業観・勤労観を涵養する。	25	1	79	0	80
YYP48出張事業	6月16日(土) 9月21日(金) 10月27日(土) 10月28日(日)	緑生涯学習センター 南児童館 千種生涯学習センターまつりにてそれぞれYYP48の出張販売を実施。	4	0	13	0	13
ユースマイスター認定制度(ギターやってみようマイスター講座)	4月10日(火) ～3月26日(火) (原則第2・4火曜)	学びを通し、上達することの楽しさ、奥深さを体感する。また、集まったメンバーとの交流で他者理解涵養の機会とする。	24	47	147	0	194
ぼくらのサードプレイス	5月20日(日) ～2月24日(日)	コミュニケーションに不安があったり、仲間作りがなかなかできない人たちが定期的に集う場を設ける。	9	17	38	18	73
Enjoy Sport(縁スポ)	7月10日(火) ～3月28日(木)	隔週で生涯学習センターの体育室を使用し、スポーツを通じて交流を図る。	18	0	97	0	97
Enjoy Sport(縁スポ)特別編	12月22日(土) 3月23日(土)	スポーツを通じて交流を図る縁スポの特別編。ユースクエアでバレーエクササイズを行う。	2	0	10	0	10
なんでもTRY	5月22日(火) ～3月30日(土)	若者の「やってみたいこと」「共有したいこと」をサポートし、その後ユースクエアを拠点とした自主活動へと促す。	22	26	128	3	157
計			104	91	512	21	624

2 人につながるワークショップ

事業名	実施日	概要	回数	企画・運営 青少年	参加・活動 青少年	一般 参加者	参加者 合計
ミーティング・ファシリテーター入門講座	5月20日(日) 5月27日(日)	話し合い・打ち合わせ・会議で参加者の当事者意識を高め、より効果的な知的創造活動を促進するファシリテーションを学ぶ。	2	0	49	2	51
若者のコミュニケーションUP合宿☆	6月23日(土) ～24日(日)	コミュニケーションについて考えて学び、他者との関わりの中で自信を持って自分らしく生きるために役立つ知識を知って学ぶ講座。1泊2日の合宿。	1	0	15	0	15
ファシリテーション合宿☆	6月30日(土) ～7月1日(日)	話し合い・打ち合わせ・会議で参加者の当事者意識を高め、より効果的な知的創造活動を促進するファシリテーションを学ぶ。	1	12	0	1	13
コミュニケーションワークショップ	6月2日(土) 2月17日(日)	中高生に、自分の将来像について考える機会を持ってもらう。 興味のある職業というテーマを設定することで仲間や講師との意見交換を活性化し、中高生が自分の思いを伝えることを経験しやすい場とする。	2	1	18	0	19
計			6	13	82	3	98

3 若年者自立支援事業

事業名	実施日	概要	回数	企画・運営 青少年	参加・活動 青少年	一般 参加者	参加者 合計
ユースク メンテナンス隊	4月1日(金) ～3月31日(土) (各月1クール)	若者が実際に館内の清掃業務を行うことで、社会人としてのマナーをはじめ、業務遂行に必要な能力を養う場とする。	12	0	144	0	144
就活CLUB G- MEN Goodな就活を支援 するMentor	4月12日(木) ～3月14日(木)	学生の就職活動支援と社会人となった後もプラザ事業への参加・参画する若い世代を確保する。	17	20	17	0	37
ホンキの就職	6月5日(火) ～3月26日(火)	就職活動のノウハウをマスターするセミナー。自分に合った仕事を見つけ、自己PR・志望動機の作り方を学ぶ。	16	0	80	0	80
君は生きのびられるか?「お泊りでサバイバル体験」☆	5月25日(金) ～26日(土)	デイキャンプを通した生活体験(食事作り)を提供することで、ソーシャルスキルとライフスキルを育む。	1	1	21	0	22
キャンプマスター養成講座(初級)☆	6月16日(土) ～17日(日)	中津川野外活動を翌年に控えた小学校4年生が対象の生活体験、自然体験、野外炊飯活動体験の宿泊事業	1	8	15	0	23
Let's 体験 避難所 LIFE ～避難所ってどんなところ?～☆	7月21日(土) ～22日(日)	災害状況下を想定した環境で、宿泊をととした生活体験、自然体験、野外炊飯活動を体験する。もしもの時にも慌てずに周囲と助け合える自立心を育てる。	1	11	24	0	35
めざせ昆虫博士 「お泊りで昆虫採集 & 標本作りだ」☆	7月26日(木) ～27日(金)	夏休みを利用して環境指標動物の一つの昆虫採集の機会を提供し、生物多様性や環境の変化を学ぶ。合宿をととして協調性、規律意識などを育む。	1	1	18	0	19
はじめてのWEBサイト基礎講座 めざせIT企業!	7月の日曜日 11月の日曜日	15歳(中学生を除く)～34歳を参加対象。インターネットの仕組みとWEBサイトを構築するための基礎を学ぶ。	10	4	73	0	77
しごと体験メッセ	8月7日(火)	ユースクエアまるはち夏まつりと同時開催。お祭りの参加者である小・中学生たちが気軽に立ち寄り、さまざまな仕事を体験をできる機会を提供。	1	2	135	0	137
夏休み自由研究☆	8月20日(月) ～21日(火)	チームごとに自由研究を行い、2日目に研究結果をチームごとに模造紙にまとめて発表する。学校で出される課題の参考になる合宿を行う。研究内容「ホバークラフト」「変わりゴマ」「ペットボトル水族館」「スーパーボール」。	1	10	33	0	43
お泊まりでレスキューロボット&防災体験☆	9月1日(土) ～9月2日(日)	愛知工業大学の協力のもと、レスキューロボット工作を行い、完成したロボットで、ミニロボットコンテストを行う。港防災センターによる防災教室を開催。	1	5	20	0	25

キャンプマスター養成講座(上級)☆	9月8日(土) ～9月9日(日)	野外生活の技術の習得や自然に対して関心を持つきっかけづくりなどめざす。集団生活を通じて参加者の自主性などや、参加者同士の仲間作り促進する。	1	8	17	0	25
冒険キャンプ2018 ～秋の陣～☆	10月7日(日) ～10月8日(月)	安全で親しみやすい自然体験、生活体験等を通して、自然とふれあえる時間、自由でゆとりあるあそびの時間を提供。	1	3	17	0	20
就活再起動キャンプ☆	10月27日(土) ～10月28日(日)	就労に必要とされるマナーや立ち居振る舞い等の見直し、最終の就職活動への意欲喚起等を学ぶことができる合宿。	1	2	3	0	5
親子でやきいも☆	11月25日(日)	小学生の児童が保護者と一緒に、宿センの野外施設で、昔ながらの方法で焼いもを行う。	1	4	6	6	16
冬のお泊り会！オリジナルリースをつくろう！☆	12月8日(土) ～12月9日(日)	大高緑地を探索し、自然の素材を拾い集め、イマジネーションを高めてオリジナルリースを作る。同時に環境保全意識を高める。	1	3	15	0	18
仕事×(出会い)×若者＝天職発見フェア	12月15日(土)	就職未内定者や自身のキャリアを考えたい青少年を対象に企業人との交流の機会を提供する。自らの「仕事」を考えるヒントとしてもらい、採用に積極的な企業には採用の場として活用してもらう。	1	2	70	0	72
もうすぐお正月！もちつき合宿だ！☆	12月26日(水) ～12月27日(木)	日本の伝統行事である餅つきを体験する。合宿形式で行い、他者と生活を共にすることで、社会生活に必要な協調性を学ぶ。	1	2	18	0	20
お泊まり修行！マジパンづくりに挑戦！☆	2月9日(土) ～2月10日(日)	職人の仕事理解と協調性などを育む。規律ある生活を経験し、自己管理の生活習慣づくりの定着を促す。	1	5	18	0	23
各種施設・団体との連携(インターンシップ事前研修)	7月20日(金)	中央高校にてインターンシップの大学生に対する説明会	1	0	7	4	11
ライフ・コストシューミレーションワークショップ	10月11日(木) 11月15日(木) 11月22日(木)	社会保険制度を解説、ライフイベントコストゲームを体験し働き方によって生じる差について体験し、グループで共有した。	3	0	62	0	62
計			74	91	813	10	914

Ⅱ 地域・まちにつながる支援

1 青少年育成サポーターの養成

事業名	実施日	概要	回数	企画・運営 青少年	参加・活動 青少年	一般 参加者	参加者 合計
ユースワーカー養成講座	12月1日(土) 12月2日(日)	青少年育成サポーターの育成を目的として、ユースワーカーの基礎知識や役割、会議の進め方など、青少年に関わるための必要な知識を学ぶ。	1	0	10	0	10
計			1	0	10	0	10

2 プラザ事業への参加・参画

事業名	実施日	概要	回数	企画・運営 青少年	参加・活動 青少年	一般 参加者	参加者 合計
ユースクエア 企画委員会	4月11日(水) ～3月27日(水) (原則第2・4水曜)	夏祭り、大曽根春の街道フェスタ、まるフェスなどのプラザ事業や地域のイベントの企画検討検討。 6月9日、10日は分館利用促進動画の作成のため分館にて合宿実施。	25	277	0	0	277
「団子より花」～さくらまつり～	4月3日(火)	桜ライトアップ、おかしデコレーションなどU20イベントPRODUCEによる企画実施	1	5	52	0	57
U20イベント PRODUCE	5月16日(水) ～3月20日(水) (毎月第3水曜日)	小学生～高校生世代に対応するイベントを企画する。夏まつり、北区区民まつり、さくら祭りの検討。	11	64	0	0	64
北区区民まつり	10月21日(日)	「北区役所・八王子中学校会場」、「ユースクエア会場」、「愛知学院大学名城公園キャンパス会場」等で多面展開される北区区民まつり(通称:きた・きたフェスタ)に青少年が関わる。	1	10	0	300	310
大曽根秋の街道 フェスタ	11月3日(土)	秋の街道フェスタで、ブース出展し、フェスタを盛り上げる。3種類のオリジナル「ねこまんま」の開発、フェスタでの試食会及び投票。	1	9	0	0	9
ユースクエアまるごと フェスティバル	3月3日(日) 3月10日(日)	青年対象事業と小学生対象の2日実施。 青年対象では、地域を盛り上げ、青少年の地域貢献の機会をつくる。 小学生対象では、ものづくり体験などのブースを実施	2	55	264	495	814
PEPPER向プログラ ミング講座	6月3日(日) ～2月24日(日)	ユースクエアのPepperを制御プログラミング方法を学び、「しゃべる」「言葉を聞き取る」等自分で考えたプログラミングで、Pepperを動かす。 6月、1月、2月の土曜日又は日曜日に実施	11	0	72	5	77
第6回ぼらマッチな ごや	6月23日(土)	第6回ぼらマッチ！に参加し、ブースでプラザのPRを行う。	1	1	18	1	20
ユースクエア まるはち夏まつり	8月7日(火)	「柳原通商店街夏まつり」と同日開催し、地域を盛り上げるとともに、青少年の地域貢献の場を作ることを目的として実施する。	1	35	116	388	539
ユースクエア桜まつり～ユースクエア 文化祭～	3月29日(金)	桜ライトアップなどU20イベントプロデュースによる企画実施	1	46	85	13	144
計			55	502	607	1,202	2,311

3 地域活動への参加・参画

派遣事業名	実施日	概要	回数	企画・運営 青少年	参加・活動 青少年	一般 参加者	参加者 合計
大曽根街おこし曲 「大曽根ばやし」を 北区商店街まつり で一緒に踊ろう！	4月22日(日)	青少年の力で北区の魅力を 創造し、広く市民に発信する。 青少年の課題達成スキル・協 調性などのキャリア発達を促 す。	1	2	0	297	299
ゴールデンウィーク フェア	5月3日(木) ～6日(日)	イベントにボランティアスタッフ を派遣	4	7	0	0	7
ご当地キャラをプロ デュース！！ ※プラザ事業	5月10日(木) 5月25日(金) 6月8日(金) 6月22日(金) 6月23日(土) 7月6日(金)	・大曽根本通商店街や大曽根 まちづくり会議などと連携し、 大曽根地区のご当地キャラク ターを活用した企画づくりを実 施。 ・途中、関連講座として着ぐる みボランティア養成講座「おお ぞねこになろう！」も開催。	6	41	132	18	191
第59回 大曽根七 夕まつり	7月27日(金) 7月29日(日)	・大曽根地区のご当地キャラ クターを活用した企画の実 践。	2	72	0	0	72
災害時の調理体験	6月22日(金)	しおみが丘保育園からの依 頼により運営補助のボラン ティア派遣	1	2	0	30	32
大曽根春の街道 フェスタ	5月20日(日)	ユースクエア企画委員会が企 画で関わるほか、運営補助の ボランティアを派遣。	1	4	0	0	4
サステナまち計画 ※プラザ事業	5月8日(火) 5月22日(火) 6月5日(火) 6月19日(火) 7月3日(火) 7月17日(火) 8月7日(火) 8月8日(水)	商店街や愛知学院大学地域 連携センターと協働しながら、 柳原通商店街や周辺地域の 未来について「ありたい姿」に ついて対話するとともに、その 一端を実現するために、柳原 通夏まつりで自分たちが考え た企画を運営する。	8	8	34	115	157
バスハイク～ヤン マーミュージアムに 行こう！～	5月27日(日)	白金児童館のイベントへ子ど もの引率等のボランティア派 遣	1	1	0	32	33
キッズクッキング～ キラキラお星さま寿 司を作ろう～	7月7日(土)	昭和区在宅サービスセンター からの依頼により運営補助の ボランティアスタッフ派遣	1	1	0	16	17
バスハイク～伊勢 シーパラダイスに行 こう！～	7月8日(日)	白金児童館のイベントへ子ど もの引率等のボランティア派 遣	1	1	0	40	41
流しそうめん	7月25日(水)	白金児童館のイベントのボラ ンティアスタッフ派遣	1	1	0	47	48
リトル★シェフ～ラ ムネ菓子～	8月1日(水)	白金児童館のイベントのボラ ンティアスタッフ派遣	1	1	0	79	80
ちびっこ体操教室	8月2日(木) ～4日(土)	白金児童館のイベントのボラ ンティアスタッフ派遣	1	3	0	15	18
名古屋市西文化セ ンター児童福祉事 業「夏休み子どもまつり」	8月22日(水)	名古屋市西文化センターから の依頼によりイベントへ青少 年団体派遣	1	3	0	64	67

こどものまち・しらかね	8月30日(木)	白金児童館のイベントへ運営補助など子どもに関わるボランティアスタッフを派遣	1	1	0	204	205
西古渡神社大祭の前夜祭	10月7日(日)	尾頭橋北部町内会へボランティアの派遣	1	6	0	100	106
秋季祭礼	10月14日(日)	子ども会からの依頼に子どもに関わる青少年団体を派遣	1	7	0	40	47
大曽根秋の街道フェスタ	11月3日(土)	大曽根商店街へボランティアスタッフ派遣	1	2	0	0	2
清水学区子ども会クリスマス会	12月2日(日)	子ども会のイベントで出し物などをする青少年団体を派遣	1	13	0	100	113
もちつき大会	12月16日(日)	白金児童館のイベントのボランティアスタッフ派遣	1	1	0	117	118
コップを飛ばそう	12月27日(木)	白金児童館のイベントのボランティアスタッフ派遣	1	1	0	16	17
なごや子どもCity2018	12月22日(土) 12月23日(日)	当日の見守りなどのボランティア派遣	2	2	0	0	2
西文化センター児童福祉事業「子どもまつり」	2月9日(土)	名古屋市西文化センターからの依頼によりボランティアスタッフ派遣	1	3	0	36	39
ジネンカフェVOL130	2月24日(日)	当日の運営補助などのボランティア派遣	1	1	0	36	37
星と遊ぼう	3月18日(月)	白金児童館のイベントのボランティアスタッフ派遣	1	10	0	114	124
丸屋南北子ども会合同歓送迎会	3月22日(金)	丸屋南北子ども会の合同歓送迎会の運営補助ボランティアの派遣	1	4	0	33	37
計			43	198	166	1,549	1,913

Ⅲ 地域・まちに働きかける支援

1 課題・発見参画ワークショップ

事業名	実施日	概要	回数	企画・運営 青少年	参加・活動 青少年	一般 参加者	参加者 合計
未来デザイン・ファシリテーター実践講座	11月18日(日) 11月25日(日) 12月8日(土) 12月16日(日)	地域・まちに変化を起こすための対話の場を仕掛け、イノベーションを促進するファシリテーターを養成する。	4	0	63	4	67
World OKASHI Festa	8月5日(日)	北生涯学習センターとの共催。外国人3名と日本人1名の計4名を講師とし、4か国の簡単に作れるお菓子作りや試食をしながら、お菓子にまつわるエピソードや、それぞれの国の人が感じている、国際間の誤解、思い込みについて話してもらう。	1	11	22	0	33
計			5	11	85	4	100

2 青少年の自主活動推進事業

事業名	実施日	概要	回数	企画・運営 青少年	参加・活動 青少年	一般 参加者	参加者 合計
まなびとカレッジ	4月15日(日) ～3月17日(日)	参加者で生徒役と先生役に分かれ、授業を行うなど授業作りを体験することによってさらに深い学びを得る。	12	81	29	0	110
まなびてーしょん！	7月1日(日) ～3月2日(土)	ファシリテーションについての役割、手法について学ぶ。	12	62	38	1	101
Lプラネット	4月19日(木) ～7月13日(金)	大曽根地区のマスコットキャラクターを活用した企画を立案、運営することを通して、地域・まちにつながる。	13	33	0	0	33
ユースフェスティバル2019	10月14日(日) ～3月31日(日)	ユースクエアの登録団体と、青少年文化センターの利用団体が共同して、北文化小劇場で発表会を実施。	15	183	313	290	786
ダブルダッチチャレンジin愛知2018	11月23日(金)	名古屋市及びその近郊で活動する子どもたちの交流会とダブルダッチの普及活動	1	10	45	0	55
クリスマスパーティー2018	12月16日(日)	yorozuya、ギターマイスター有志が中心となり、「クリスマスパーティー」を企画し、青少年団体に参加を呼びかけるなど青少年との交流を図る。	1	24	10	0	34
まったりカフェ	3月23日(土)	yorozuyaが中心となり、「まったりカフェ」を企画し、青少年団体に参加を呼びかけるなど青少年との交流を図る。	1	1	25	0	26
計			55	394	460	291	1,145

IV その他

1 各種団体・施設等との連携

4月19日(木)	4月 区政推進会議(例会)
5月17日(木)	5月 区政推進会議幹事会
5月23日(水)	区民まつり実行委員会
6月14日(木)	北区区民まつり同時開催者連絡会
6月21日(木)	6月 区政推進会議(例会)
6月23日(土)	第6回ボラマッチ
6月26日(火)	子育て支援ネットワーク連絡会
8月2日(木)	子育て支援ネットワーク連絡会
9月20日(木)	9月 区政推進会議幹事会
10月25日(木)	10月 区政推進会議(例会)
10月30日(火)	児童館及びユースクエア職員意見交換会
11月15日(木)	11月 区政推進会議幹事会
12月20日(木)	12月 区政推進会議(例会)
1月29日(火)	子育て支援ネットワーク連絡会
2月21日(水)	2月 区政推進会議幹事会
2月27日(水)	子育て支援ネットワーク連絡会
3月14日(水)	3月 区政推進会議(例会)

2 広報・情報事業

事業案内パンフレット(30年度前期)	約	10,000 部
お泊まりイベント案内(30年度後期)	約	4,500 部
施設・事業案内パンフレット	約	15,000 部
ユースクエアまるはち夏まつりチラシ	約	7,500 部
北区区民まつり(ドミノフレンズ)	約	8,500 部
ユースクエアまるごとフェスティバル(3/3)	約	3,000 部
ユースクエアまるごとフェスティバル(3/10)	約	700 部
U20イベントプロデュース(30前期)	約	4,600 部
U20イベントプロデュース(30後期)	約	6,000 部
ユースクエア・メンテナンス隊	約	60 部
YYP参加者募集(2019年)	約	200 部
ギターやってみよマイスター講座(秋冬)	約	150 部
ギターやってみよマイスター講座(2019年春夏)	約	300 部
若者コミュニカアップ合宿	約	3,500 部
お泊まりでサバイバル体験	約	4,500 部
企画委員会メンバー募集	約	3,500 部
サステナまち計画	約	3,500 部
ご当地キャラをプロデュース	約	3,500 部
ぼくらのサードプレイス(シーズン1)	約	2,500 部
ファシリテーター合宿	約	1,780 部
まなびテーション	約	2,040 部
夏休み自由お泊まり会	約	9,000 部
縁スポ(ENJOY SPORT)	約	3,000 部
縁スポ(ENJOY SPORT)特別編	約	5,000 部
縁スポ(ENJOY SPORT)特別編2	約	5,000 部
マジパンギフトづくりに挑戦!	約	4,500 部
ぼくらのサードプレイス30第2期	約	2,500 部
ぼくらのサードプレイス30第3期	約	1,750 部
もうすぐお正月! 餅つき合宿だ!	約	4,000 部
就活CLUB G-MEN	約	600 部
就活オフ会(旧:就活GMEN)(2019年4~6月)	約	700 部
なんでもTRY「さんぽ倶楽部(12~3月)」	約	1,500 部
なんでもTRY「さんぽ倶楽部(2~3月)」	約	1,500 部
ワンステップ合宿(YYC合宿)	約	2,000 部
お泊りでレスキューロボット工作&防災体験	約	7,500 部
U-15 しごと体験メッセ	約	7,000 部
仕事×(出会い)×若者=天職発見フェア	約	3,000 部
冬のお泊り会! オリジナルリースを作ろう!	約	4,000 部
はじめてのWEBサイト基礎講座~めざせIT企業~	約	150 部
「Pepper向け プログラミング講座」2期	約	140 部
「Pepper向け プログラミング講座」2019年1期	約	300 部
Re.就活再起動キャンプ	約	150 部
ホンキの就職	約	650 部

ユースワーカー養成講習会	約	2,500 部
まなびとカレッジシーズン3	約	1,600 部
大曽根秋の街道フェスタ(おおぞねこまんま)	約	200 部
オープンスペースプランニング	約	3,500 部
未来デザイン・ファシリテーター実践講座	約	1,260 部
自主活動推進事業「ダブルダッジチャレンジ」	約	4,700 部
自主活動推進事業「クリスマスパーティー」	約	100 部
自主活動推進事業「ユースフェスティバル」	約	870 部
LET'S体験 避難所LIFE ～避難所ってどんなところ？～	約	2,000 部
親子でやきいもをしよう	約	800 部
冒険キャンプ2018 ～秋の陣～	約	3,000 部
キャンプマスター養成講座(5-6年生対象)「お泊まりでアウトドアを楽しもう」	約	2,000 部
キャンプマスター養成講座(4年生対象)「やさしいキャンプのお泊まり会」	約	1,000 部
青少年による居場所としての環境整備事業「みんなで空間を作って遊ぼう」	約	6,000 部
自主活動推進事業「まったりカフェ」開催案内	約	100 部

VI 平成30年度利用状況

1 青少年交流プラザ（本館）

（１） 開所日数 321日

（２） 部屋利用状況

区分	件数	割合	人数	割合	利用率
青少年	8,136	73.4%	65,651	75.6%	72.8%
一般	1,888	17.0%	9,783	11.3%	
主催事業等	1,060	9.6%	11,351	13.1%	
合計	11,084	100.0%	86,785	100.0%	

（３） オープンスペース利用状況

区分	件数	割合	人数	割合	利用率
利用者	—	—	59,344	—	—

（４） 時間帯別利用状況

区分	件数	割合	人数	割合	利用率
午前	2,155	19.4%	16,091	18.5%	61.8%
午後	2,971	26.8%	22,558	26.0%	72.1%
夕方	2,953	26.6%	24,798	28.6%	71.7%
夜間	3,005	27.1%	23,338	26.9%	86.2%
合計	11,084	100.0%	86,785	100.0%	72.8%

（５） 曜日別利用状況

区分	件数	割合	人数	割合	利用率
平日	6,154	55.5%	42,544	49.0%	66.8%
土曜日	1,896	17.1%	18,443	21.3%	84.0%
日曜日	2,087	18.8%	19,140	22.1%	87.0%
祝日	552	5.0%	3,870	4.5%	76.7%
臨時開場	395	3.6%	2,788	3.2%	63.3%
合計	11,084	100.0%	86,785	100.0%	72.8%

（６） 部屋別利用状況

区分	件数	割合	人数	割合	利用率
活動室１・３	4,024	36.3%	26,366	30.4%	79.3%
活動室２・４	1,834	16.5%	13,862	16.0%	72.3%
ミーティングルーム１・２	1,686	15.2%	10,855	12.5%	66.5%
プレイルーム	914	8.2%	25,827	29.8%	72.1%
音楽スタジオ１・２	2,626	23.7%	9,875	11.4%	69.0%
合計	11,084	100.0%	86,785	100.0%	72.8%

(7) 青少年団体登録状況

(単位：団体)

種類		青年団体	少年団体	青少年団体	合計
音楽	バンド	30	3	1	34
	吹奏楽	12	0	4	16
	合唱	5	0	0	5
	管弦楽	2	0	1	3
	太鼓	15	1	7	23
	ギター	1	0	0	1
	その他	19	0	1	20
ダンス		82	7	27	116
バトン		0	0	0	0
演劇		99	0	6	105
国際交流		0	0	2	2
手話		0	0	1	1
話し方		0	0	0	0
キャンプカウンセラー		2	0	0	2
ヨガ		0	0	0	0
福祉		0	0	0	0
その他		19	3	4	26
合計		286	14	54	354

(8) 青少年育成サポーター登録状況

	人数
登録人数	204

(9) 月別利用状況

① 部屋利用

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数		日 26	27	26	29	30	28	27	26	25	25	25	27	321
青少年	件	609	682	686	703	952	698	666	604	508	586	740	702	8,136
	人	5,353	6,064	5,983	5,315	8,190	5,842	5,081	4,176	3,935	4,121	6,235	5,356	65,651
一般	件	151	143	164	165	120	191	196	167	136	149	145	161	1,888
	人	815	810	911	727	561	947	1,129	792	675	715	795	906	9,783
主 催 事業等	件	43	84	65	83	52	78	78	96	138	145	94	104	1,060
	人	672	1,024	437	621	348	744	1,199	1,103	1,415	1,283	799	1,706	11,351
合計	件	803	909	915	951	1,124	967	940	867	782	880	979	967	11,084
	人	6,840	7,898	7,331	6,663	9,099	7,533	7,409	6,071	6,025	6,119	7,829	7,968	86,785
利用率		% 64.3%	70.1%	73.3%	68.3%	80.7%	71.9%	72.5%	69.5%	67.9%	73.3%	81.6%	80.6%	72.8%

② オープンスペース利用

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者	人	3,844	5,787	5,284	4,567	6,209	4,324	5,455	5,711	4,665	3,949	5,226	4,323	59,344

2 青少年宿泊センター（分館）

（１） 宿泊使用

① 利用率等

開館日数(日)	宿泊日数(日)	宿泊室数(室)	宿泊率(%)	利用率(%)
315	223	1,949	70.8%	41.2%

* 宿泊率=宿泊日数／開館日数 (%)

* 利用率=宿泊室数／開館日数×15室 (%)

② 宿泊団体数

1泊	2泊	3泊	4泊以上	合計	延べ数(件数)
300	64	17	1	382	483

③ 世代別宿泊人数

区 分		宿泊人数		比率(%)
青少年	就学前	548	9, 120	82. 1%
	小学生	2, 994		
	中学生	1, 176		
	高校生	1, 630		
	～ 2 9 歳	2, 772		
一 般		1, 992		17. 9%
合 計		11, 112		100%

（２） 宿泊団体種別状況

区 分	件数	宿泊人数
保育園等	15	509
少年団体	168	4,538
青年団体	69	1,425
中学・高校等	90	2,128
短大・大学等	49	1,151
一般・事業所	57	911
家族・その他	35	450
合 計	483	11,112

（３） 宿泊団体目的別状況

区 分	件数	宿泊人数
スポーツ	143	3,812
音楽・合唱	35	895
演劇・ダンス	47	1,012
学習・研修	158	3,264
保育・子育て	23	623
学童・子ども会等	20	514
親睦・その他	57	992
合 計	483	11,112

(4) 研修室使用

区 分		件数	利用人数	比率(%)	
宿泊使用	青少年団体	1,756	45,244	59.1%	64.3%
	一般団体	178	4,051	5.3%	
	小計	1,934	49,295		
日帰り使用	青少年団体	763	12,176	15.9%	35.7%
	一般団体	1,176	15,144	19.8%	
	小計	1,939	27,320		
合 計	青少年団体	2,519	57,420	74.9%	100%
	一般団体	1,354	19,195	25.1%	
	合計	3,873	76,615		

(5) 研修室別利用内容

区 分	件数	利用人数			利用率(%)
		青少年団体	一般団体	合計	
教室1	284	3,322	1,797	5,119	30.1%
教室2	311	2,606	1,051	3,657	32.9%
教室3	240	2,238	785	3,023	25.4%
教室4	315	5,141	1,142	6,283	33.3%
プレイルーム	500	12,953	3,732	16,685	52.9%
活動室1	531	6,347	3,114	9,461	56.2%
活動室2	303	4,119	1,069	5,188	32.1%
音楽室1	228	651	602	1,253	24.1%
音楽室2	214	1,640	586	2,226	22.6%
体育室	815	15,724	4,920	20,644	86.2%
和室	11	181	110	291	
野外炊飯施設	121	2,498	287	2,785	
合計	3,873	57,420	19,195	76,615	39.6%

*利用率=件数／開所日数×3(午前・午後・夜間) (%) …和室・野外施設利用を除く

(6) 研修室利用時間区分別

区 分	午前		午後		夜間		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
青少年団体	821	19,721	849	19,784	849	17,915	2,519	57,420
一般団体	531	7,700	483	6,478	340	5,017	1,354	19,195
合計	1,352	27,421	1,332	26,262	1,189	22,932	3,873	76,615

○名古屋市青少年交流プラザ条例

平成18年12月27日

条例第80号

改正 平成20年条例第42号

平成21年条例第66号

平成25年条例第25号

平成28年条例第36号

(設置)

第1条 社会性及び主体性に富み、人間性豊かで活力あふれる青少年の育成を図るため、次のように青少年交流プラザを設置する。

名称 名古屋市青少年交流プラザ

位置 名古屋市北区柳原三丁目6番8号

2 名古屋市青少年交流プラザに、次のように分館を置く。

名称 名古屋市青少年宿泊センター

位置 名古屋市緑区大高町字蝮池4番地の6

(事業)

第2条 名古屋市青少年交流プラザ（以下「プラザ」という。）は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 青少年の社会参加体験活動その他の体験活動の促進
- (2) 青少年の社会参加活動の促進のための青少年ボランティアの養成及びそのボランティア活動の支援
- (3) 青少年相互の交流及び青少年と他の世代との交流の促進
- (4) 青少年の自立支援に関する事業
- (5) 青少年に関する情報の収集及び提供並びに相談
- (6) 青少年に関する各種の団体、施設等との連携
- (7) 青少年に関する調査研究
- (8) プラザの施設の供用
- (9) その他市長が必要と認める事業

(使用の許可)

第3条 プラザの別表第1に掲げる施設（以下「プラザの施設」という。）を使用しようとする者は、規則で定めるところにより、市長の許可を受けなければならない。

2 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、使用を許可しない。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗をみだすおそれがあるとき。
- (2) 管理上の支障があるとき。

3 市長は、第1項の許可に際して、プラザの管理上必要な条件を付けることができる。
(使用料)

第4条 プラザの施設の使用の許可を受けた者（以下「使用者」という。）は、別表第1に定める額の使用料を納付しなければならない。

2 使用者は、使用料を前納しなければならない。ただし、市長が特別の事由があると認めたときは、この限りでない。

3 プラザの駐車場を使用しようとする者は、別表第2に定める額の使用料を納付しなければならない。

(使用料の減免)

第5条 市長は、特別の事由があると認めたときは、使用料を減免することができる。

(使用料の不還付)

第6条 既納の使用料は、還付しない。ただし、市長が特別の事由があると認めたときは、その全部又は一部を還付することができる。

(使用の許可の取消し等)

第7条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、使用の許可の条件を変更し、若しくは使用を停止し、又は使用の許可を取り消すことができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則の規定に違反したとき。
- (2) 許可された使用目的に違反したとき。
- (3) 使用の許可の条件に違反したとき。
- (4) 公の秩序又は善良な風俗をみだしたとき、又はみだすおそれがあるとき。
- (5) 工事その他のプラザの管理上やむを得ない事由が生じたとき。

(特別の設備の設置)

第8条 使用者は、プラザの施設の使用に当たって特別の設備を設け、又は原状の変更をしようとするときは、あらかじめ市長の承認を受けなければならない。

(原状回復の義務)

第9条 特別の設備を設け、若しくは原状の変更をした使用者が使用を終わったとき、又は使用の停止若しくは使用の許可の取消しがなされたときは、直ちに特別の設備を撤去し、かつ、プラザの施設を原状に回復しなければならない。

(損害賠償等)

第10条 建物、設備その他器具を損傷し、又は滅失させた者は、市長の指示に従い、これらを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(指定管理者)

第11条 プラザの管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項に規定する指定管理者に行わせる。

(指定管理者の指定の手続)

第12条 市長は、プラザの指定管理者の指定をしようとするときは、規則で定めるところにより、選定に参加する者に必要な資格、管理の基準その他の選定について必要な事項を明示し、公募するものとする。

2 プラザの指定管理者の指定を受けようとする者は、規則で定めるところにより、事業計画書その他必要な書類を市長に提出しなければならない。

3 市長は、次に定める基準に従い、指定管理者を選定するものとする。

(1) 市民の平等利用が確保されること。

(2) 事業計画書の内容が、プラザの設置目的を最も効果的に達成するとともに管理経費の縮減が図られるものであること。

(3) 指定管理者の指定を受けようとする者が、事業計画書に沿った管理を安定して行う物的及び人的能力を有していること。

4 市長は、指定管理者を指定したとき及びその指定を取り消したときは、その旨を告示するものとする。

(指定管理者が行う管理の基準)

第13条 指定管理者は、プラザの開館時間及び休館日の定めに従い、当該施設を適正に市民の利用に供しなければならない。

2 前項のプラザの開館時間及び休館日は、規則で定める。

3 前2項の規定にかかわらず、指定管理者は、市長との協議により、開館時間以外の時間及び休館日に開館することができる。

4 指定管理者の管理の業務を行うに当たっては、名古屋市個人情報保護条例（平成17年名古屋市条例第26号）の定めるところにより、個人情報を適正に取り扱わなければならない。

(指定管理者が行う業務の範囲)

第14条 指定管理者が行う業務の範囲は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 第2条に規定する事業の実施に関する事。
 - (2) プラザの施設の使用の許可に関する事。
 - (3) プラザの施設の使用料の徴収に関する事。
 - (4) プラザの維持管理及び修繕（原形をばずる修繕及び模様替を除く。）に関する事。
 - (5) その他市長が定める業務
- （委任）

第15条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

- 1 この条例の施行期日は、規則で定める。

（平成19年規則第84号で平成19年7月7日から施行。ただし、附則第2項の規定の施行期日は、平成19年6月1日から施行）

- 2 この条例の規定に基づく許可の申請その他プラザの施設を使用するために必要な手続は、この条例の施行前においても行うことができる。

附 則（平成20年条例第42号）

（施行期日）

- 1 この条例は、平成21年4月1日（以下「施行日」という。）から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。

（経過措置）

- 2 この条例による改正後の名古屋市青少年交流プラザ条例（以下「新条例」という。）第12条の規定による指定管理者の指定の手続その他の行為は、施行日前においても行うことができる。

（名古屋市青年の家条例の廃止）

- 3 名古屋市青年の家条例（昭和45年名古屋市条例第32号）は、廃止する。

（名古屋市青年の家条例の廃止に伴う経過措置）

- 4 この条例の施行の際現に前項の規定による廃止前の名古屋市青年の家条例第3条第1項の規定により青年の家の施設の使用の許可を受けている者又は青年の家の施設の使用の許可を申請し、受理されている者は、新条例第3条第1項の規定によるプラザの施設の使用の許可を受けた者又はプラザの施設の使用の許可を申請し、受理された者とみなす。
- 5 この条例の施行の際現に前項の規定により許可を受けた者及び受理された者とみなされた者の使用料の額については、新条例別表第1の規定を適用する。
- 6 この条例の施行の日の前日において名古屋市青年の家運営審議会の委員である者の任

期は、附則第3項の規定による廃止前の名古屋市青年の家条例第13条第4項の規定にかかわらず、その日に満了する。

附 則（平成21年条例第66号）抄
（施行期日）

- 1 この条例は、平成22年4月1日から施行する。

附 則（平成25年条例第25号）

- 1 この条例は、平成26年4月1日（以下「施行日」という。）から施行する。ただし、次項の規定は公布の日から、第4条及び別表第2の改正規定は平成25年7月1日から施行する。
- 2 この条例による改正後の名古屋市青少年交流プラザ条例第12条の規定による名古屋市青少年交流プラザ（分館を除く。）の指定管理者の指定の手續その他の行為は、施行日前においても行うことができる。

附 則（平成28年条例第36号）

- 1 この条例は、平成29年4月1日（以下「施行日」という。）から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。
- 2 この条例による改正後の名古屋市青少年交流プラザ条例第12条の規定による指定管理者の指定の手續その他の行為は、施行日前においても行うことができる。

別表第 1

1 プラザ（分館を除く。）の施設の使用

使用区分			使用料の額			
			3時間	6時間	9時間	1日
プレイルーム			2,300円 (4,600円)	4,600円 (9,200円)	6,900円 (13,800円)	9,200円 (18,400円)
活動室A	区画しない場合		1,500円 (3,000円)	3,000円 (6,000円)	4,500円 (9,000円)	6,000円 (12,000円)
	区画する場合	第1室	750円 (1,500円)	1,500円 (3,000円)	2,250円 (4,500円)	3,000円 (6,000円)
		第2室	750円 (1,500円)	1,500円 (3,000円)	2,250円 (4,500円)	3,000円 (6,000円)
	活動室B		900円 (1,800円)	1,800円 (3,600円)	2,700円 (5,400円)	3,600円 (7,200円)
ミーティングルーム			400円 (800円)	800円 (1,600円)	1,200円 (2,400円)	1,600円 (3,200円)
音楽スタジオ			2時間 300円 (700円)			

備考

- 1 使用時間の区分は、次のとおりとする。
 - (1) 3時間
 - ア 9時30分から12時30分まで
 - イ 12時30分から15時30分まで
 - ウ 15時30分から18時30分まで
 - エ 18時30分から21時30分まで
 - (2) 6時間
 - ア 9時30分から15時30分まで
 - イ 12時30分から18時30分まで
 - ウ 15時30分から21時30分まで
 - (3) 9時間
 - ア 9時30分から18時30分まで
 - イ 12時30分から21時30分まで
 - (4) 1日 9時30分から21時30分まで
- 2 ()内の額は、第1条のプラザの設置の目的のため以外に使用する場合に適用する。
- 3 附属設備の使用料の額は、附属設備の種類又は品目ごとに規則で定める額とする。

2 分館の施設（宿泊室を除く。）の日帰り使用

使用区分		使用料の額					
		午前	午後	午前 午後	夜間	午後 夜間	1日
体育 室	スポーツ又は レクリエーシ ョンに使用す る場合	2,400円	2,400円	4,800円	3,000円	5,400円	7,800円
	その他の場合	5,800円	5,800円	11,600円	7,800円	13,600円	19,400円
プレイルーム		5,200円 (2,700円)	5,200円 (2,700円)	10,400円 (5,400円)	7,000円 (3,600円)	12,200円 (6,300円)	17,400円 (9,000 円)
第1活動室		1,200円	1,200円	2,400円	1,500円	2,700円	3,900円
第2活動室		1,800円	1,800円	3,600円	2,400円	4,200円	6,000円
音楽 室	第1音楽室	900円	900円	1,800円	1,300円	2,200円	3,100円
	第2音楽室	1,500円	1,500円	3,000円	1,900円	3,400円	4,900円
和室	第1和室 第2和室 (1室につき)	600円	600円	1,200円	700円	1,300円	1,900円
	第3和室 第4和室 (1室につき)	1,200円	1,200円	2,400円	1,500円	2,700円	3,900円
	第5和室 第6和室 第7和室 第8和室 (1室につき)	600円	600円	1,200円	700円	1,300円	1,900円
	第9和室 第10和室 第11和室 第12和室 (1室につき)	1,200円	1,200円	2,400円	1,500円	2,700円	3,900円

教室	第1教室	1,200円	1,200円	2,400円	1,500円	2,700円	3,900円
	第2教室	600円	600円	1,200円	700円	1,300円	1,900円
	第3教室 (1室につき)						
	第4教室	1,200円	1,200円	2,400円	1,500円	2,700円	3,900円

備考

- 使用時間の区分は、次のとおりとする。
 - 午前 午前9時から午後0時30分まで
 - 午後 午後1時から午後4時30分まで
 - 午前午後 午前9時から午後4時30分まで
 - 夜間 午後5時から午後9時まで
 - 午後夜間 午後1時から午後9時まで
 - 1日 午前9時から午後9時まで
- () 内の額は、附属の音響装置及び映像装置を使用しない場合に適用する。
- 附属設備の使用料の額は、附属設備の品目ごとに市長が定める額とする。

3 分館の施設の宿泊使用

使用区分	使用者の区分	単位	使用料の額
宿泊室及びその他の施設（市長が別に定める学校に在学する者を除く。）	15歳以上30歳未満の者（中学校又はこれに準ずる学校に在学する者を除く。）	1人1泊	600円
要と認めるものに限る。）	30歳以上の者	1人1泊	1,900円

備考

- 小学校就学の始期に達するまでの者及び中学校若しくは小学校又はこれらに準ずる学校に在学する者は、無料とする。
- 分館の施設の宿泊使用における宿泊室の使用は、午後4時30分から翌日の午前9時までとする。

別表第2

使用区分	使用料の額	
	1日1回	回数券
駐車場（1台につき）	300円	11回分 3,000円 25回分 5,000円

備考 駐車時間が30分以内のときは、無料とする。

○名古屋市青少年交流プラザ条例施行細則

平成19年4月25日

規則第85号

改正 平成20年規則第112号

平成21年規則第4号

平成21年規則第72号

平成22年規則第37号

平成24年規則第74号

平成24年規則第95号

平成25年規則第69号

平成28年規則第20号

平成28年規則第96号

(趣旨)

第1条 この規則は、名古屋市青少年交流プラザ条例（平成18年名古屋市条例第80号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間及び休館日)

第2条 名古屋市青少年交流プラザ（以下「プラザ」という。）の開館時間及び休館日は、別表第1のとおりとする。ただし、市長が特に必要があると認めたときは、臨時に、開館時間を変更し、又は休館日に開館し、若しくは休館日以外の日に休館することができる。

2 市長は、条例第13条第3項の規定により、指定管理者に、別表第1に定める開館時間以外の時間及び同表に定める休館日に開館させようとする場合は、その旨を告示するものとする。

(分館の施設の宿泊使用)

第2条の2 名古屋市青少年宿泊センター（以下「分館」という。）の施設を宿泊使用することができる者は、5人以上の団体とする。ただし、市長が特別の事由があると認めたときは、この限りでない。

2 分館の施設を宿泊使用する者は、午前9時から午後9時までに入退館しなければならない。ただし、市長が特別の事由があると認めたときは、午後9時以後に入館し、又は午前9時以前に退館することができる。

3 別表第1分館の項休館日の欄の規定にかかわらず、市長は、同欄第1号及び第2号に規定する休館日並びに12月29日の午前9時まで宿泊使用させることができる。

(使用許可申請の手続)

第3条 条例第3条第1項の規定によりプラザの施設の使用の許可を受けようとする者は、次に掲げる事項を記載した使用申込書を指定管理者に提出しなければならない。

- (1) 使用目的
- (2) 使用区分
- (3) 使用期日及び時間
- (4) 集会又は入場予定人員
- (5) 特別の設備等の要否
- (6) 使用責任者の住所及び氏名
- (7) その他必要な事項

2 前項の申請は、次の表の左欄に掲げる区分に応じ、同表右欄に掲げる申請期間において、又は申請日から行うことができる。ただし、市長が特別の事由があると認めたときは、この限りでない。

区分		申請期間又は申請日
プレイルーム (分館を除く。)	1 青少年の団体が自らの活動の成果の発表のために使用する場合	使用しようとする日（引き続き2日以上使用しようとするときは、その最初の日。以下この表において同じ。）の属する月の前8月の初日以後
	2 この項第1号に掲げる場合以外に青少年の団体が使用する場合	使用しようとする日の属する月の前2月の初日以後
	3 その他の場合	使用しようとする日の属する月の前1月の初日以後
分館の施設（宿泊室及びその他の施設（市長が必要と認めるものに限る。）（以下「宿泊室等」という。）に限る。）	1 市又は市の機関が主催し、又は他の団体と共催する行事であって、条例第1条第1項のプラザの設置の目的のために使用する場合 2 学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条に規定する学校、同法第124条に規定する専修学校若しくは同法第134条第1項に規定する各種学校（以下「学校」という。）又は児童福祉法（昭和22年法律第164号）第7条第1項に規定する児童福祉施設が使用する場合	使用しようとする日の属する月の前12月の初日から使用しようとする日の1週間前まで

	3 青少年の団体が使用する場合	使用しようとする日の属する月の前3月の初日から使用しようとする日の1週間前まで
	4 その他の場合	使用しようとする日の属する月の前2月の初日から使用しようとする日の1週間前まで
その他の施設	1 青少年の団体が使用する場合（分館の施設を使用する場合を除く。）	使用しようとする日の属する月の前2月の初日以後
	2 その他の場合	使用しようとする日の属する月の前1月の初日以後

（使用期間）

第4条 プラザの施設の使用期間（同一人が同一施設を使用する場合に限る。）は、プレイルーム（分館を除く。）については引き続き7日以内、宿泊室等については引き続き4日以内、その他の施設については引き続き3日以内とする。ただし、市長が特別の事由があると認めたときは、この限りでない。

（使用の許可）

第5条 条例第3条第1項の規定によるプラザの施設の使用の許可は、使用許可書を申請者に交付することによって行う。

（附属設備の名称及び使用料の額）

第6条 プラザの附属設備の名称及び使用料の額は、別表第2のとおりとする。

（駐車場の使用）

第7条 駐車場を使用する者（駐車時間が30分以内である者を除く。）は、駐車場の使用を終わった際に使用料を納付しなければならない。ただし、回数券による場合にあっては、その交付を受ける際に使用料を納付するものとする。

2 駐車場の使用時間は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定める時間とする。ただし、市長が特に必要があると認めたときは、使用時間を変更することができる。

(1) プラザ（分館を除く。） 午前8時45分から午後9時35分まで

(2) 分館 午前8時30分から午後9時15分まで

3 回数券の様式は、市長が定める。

（使用料の減免）

第8条 条例第5条の規定により使用料を減免することができる場合及びその額は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 市又は市の機関が主催又は共催する行事に使用するとき。 使用料の全額（宿泊使用の場合にあつては、使用料の5割相当額（100円未満の端数は、切り捨てる。））
- (2) 第4号に掲げる手帳又は受給者証（以下「手帳等」という。）の交付を受けている者及びこれに同行する付添人（当該手帳等の交付を受けている者1人につき2人以内に限る。）が宿泊使用するとき。 使用料の全額
- (3) 青少年のうち18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者の引率者が宿泊使用するとき。 使用料の8割相当額（100円未満の端数は、切り捨てる。）
- (4) 次に掲げる手帳等の交付を受けている者が乗車している自動車（普通自動車に限る。）を駐車場に駐車させる場合であつて、当該手帳等を係員に提示したとき。 駐車場の使用料の全額
- ア 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条に規定する身体障害者手帳
- イ 戦傷病者特別援護法（昭和38年法律第168号）第4条に規定する戦傷病者手帳
- ウ 原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律（平成6年法律第117号）第2条に規定する被爆者健康手帳
- エ 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条に規定する精神障害者保健福祉手帳
- オ 市長の発行する愛護手帳（これに類するものを含む。）
- カ 難病の患者に対する医療等に関する法律（平成26年法律第50号）第7条第4項に規定する医療受給者証
- キ 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成17年法律第123号。以下「障害者総合支援法」という。）第22条第8項に規定する障害福祉サービス受給者証（障害者総合支援法第4条第1項の政令で定める特殊の疾病による障害の程度が厚生労働大臣が定める程度である者（以下「特殊疾病者」という。）に係るものに限る。）
- ク 障害者総合支援法第51条の7第8項に規定する地域相談支援受給者証（特殊疾病者に係るものに限る。）
- ケ 区長の発行する移動支援・地域活動支援受給者証（これに類するものを含む。）（特殊疾病者に係るものに限る。）
- (5) その他市長が特別の事由があると認めたとき。 その都度市長が定める額
- 2 前項各号の規定（第4号を除く。）による使用料の減免は、申請に基づいて行うものとする。

(使用料の還付)

第9条 条例第6条ただし書の規定により既納の使用料の全部又は一部を還付する場合は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 使用者の責めに帰することのできない事由によってプラザの施設を使用することができないとき。
- (2) 使用者が許可を受けた使用の日（2日以上連続して使用する場合は、その初日をいう。以下「使用日」という。）の前日までに使用の許可の取消しを申し出て、市長が相当の事由があると認めたとき。

2 前項に規定する使用料の還付の額は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 前項第1号に当たるとき。 使用料の全額
- (2) 前項第2号に当たるとき。 使用料の5割相当額（使用日の前7日までに使用の許可の取消しの申出があったときは、全額）

3 使用料の還付を受けようとする者は、使用許可書及び使用料の領収書の写しを添えて、市長に申請しなければならない。

(特別の設備の設置等の承認)

第10条 条例第8条の規定による承認の申請は、使用の許可の申請の際に併せて行うものとする。

(行為の禁止等)

第11条 プラザにおいては、次に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 火気を使用し、又は危険を引き起こすおそれのある行為をすること。
- (2) 他人に迷惑を及ぼす行為をすること。
- (3) 承認を受けないで寄付金品の募集、サービス若しくは物品の販売又は飲食物の販売若しくは提供を行うこと。
- (4) 承認を受けないで広告類を掲出し、又は頒布すること。
- (5) 建物その他の工作物を汚損し、又はき損するおそれのある行為をすること。
- (6) その他プラザの管理上支障があると認められる行為をすること。

2 使用者は前項に定めるもののほか、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 使用者が行う行事に参加する者（以下「参加者」という。）の安全確保の措置を講ずること。
- (2) 参加者に前項各号に掲げる行為をさせないこと。

(立入り)

第12条 市長は、プラザの管理のため必要があるときは、使用の許可をした場所に、自ら立ち入り、又はその命じた者若しくは委任した者に立ち入らせることができる。

2 使用者は、正当な理由がない限り、前項の規定による立入りを拒み、又は妨げてはならない。

(退館)

第13条 市長は、この規則に違反し、又は係員若しくは指定管理者若しくはその管理するプラザの管理の業務に従事している者の指示に従わない者に対し、退館を命ずることができる。

(使用権の譲渡等の禁止)

第14条 使用者は、使用の権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(指定管理者の公募)

第15条 条例第12条第1項に規定する選定について必要な事項は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 施設の概要
- (2) 指定管理者に行わせる管理の業務（以下「管理業務」という。）の範囲
- (3) 指定管理者の指定の予定期間
- (4) 選定に参加する者に必要な資格
- (5) 管理の基準
- (6) 管理業務に従事する者に必要な知識及び技能並びに人数の基準
- (7) 管理業務に従事する者の配置の基準
- (8) 管理業務に関し、指定管理者が費用及び危険を負担する範囲
- (9) その他市長が必要と認める事項

2 条例第12条第1項の規定による公募は、告示、インターネットの利用その他の適切な方法により行うものとする。

(指定管理者の指定の申請)

第16条 条例第12条第2項の規定によるプラザの指定管理者の指定の申請は、名古屋市青少年交流プラザ指定管理者指定申請書（別記様式）によって行わなければならない。

2 条例第12条第2項に規定する事業計画書には、次に掲げる事項を記載しなければならない。

- (1) 管理業務を行うに当たっての基本的な考え方とその方法

- (2) 管理業務に従事させる者の職種、人数及び職務の内容
- (3) 管理業務を通じて取得した個人情報の保護のために講じる措置の内容
- (4) 管理業務に要する費用の見込額
- (5) その他市長が必要と認める事項

3 プラザの指定管理者の指定の申請をしようとする者は、次に掲げる書類を提出しなければならない。

- (1) 定款又は寄附行為及び登記事項証明書（法人以外の団体にあつては、これらに相当する書類）
- (2) 指定管理者の指定を受けようとする者の従業員の数、資本の額その他の経営の規模及び状況がわかるもの
- (3) その他市長が必要と認める書類
（指定管理者の選定）

第17条 市長は、指定管理者の選定をしようとするときは、あらかじめ、名古屋市指定管理者選定委員会条例（平成28年名古屋市条例第16号）第1条に基づく名古屋市子ども青少年局指定管理者選定委員会の意見を聴くものとする。

（指定等の告示）

第18条 条例第12条第4項の規定による指定の告示は、次に掲げる事項について行うものとする。

- (1) 指定管理者の名称及び所在地
- (2) 指定管理者の指定の期間

2 条例第12条第4項の規定による指定の取消しの告示は、次に掲げる事項について行うものとする。

- (1) 指定管理者の名称及び所在地
- (2) 指定管理者の指定を取り消した日

（協定の締結）

第19条 市長は、指定管理者の指定をするに当たっては、当該指定管理者の指定をしようとする者と、プラザの管理に関する協定を締結するものとする。

2 前項の協定には、次に掲げる事項を定めるものとする。

- (1) 管理業務の具体的内容
- (2) プラザの管理費用として、本市が支払う金額
- (3) 管理業務に従事させる者の職種、人数及び職務の内容

- (4) 管理業務を通じて取得した個人情報の保護のために講じる措置の内容
- (5) 管理業務に関し、指定管理者が費用及び危険を負担する範囲
- (6) プラザの使用者の苦情解決の措置の概要
- (7) 緊急時等における対応方法
- (8) その他市長が必要と認める事項

(事業報告書の提出)

第20条 指定管理者は、毎年度5月31日までに、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第7項に規定する事業報告書を、市長に提出しなければならない。

2 前項の事業報告書には、次に掲げる事項を記載しなければならない。

- (1) 管理業務の実施状況
- (2) プラザの使用状況
- (3) プラザの管理経費等の収支状況
- (4) 前3号に定めるもののほか、指定管理者による管理の状況を把握するため市長が必要と認める事項

(委任)

第21条 この規則に定めるもののほか、この規則の施行に関し必要な事項は、市長が定める。

附 則

- 1 この規則は、平成19年7月7日から施行する。ただし、次項の規定は、平成19年6月1日から施行する。
- 2 許可の申請その他プラザの施設を使用するために必要な手続は、この規則の施行前においても行うことができる。

附 則（平成20年規則第112号）

この規則は、公布の日から施行する。ただし、第2条の改正規定、同条の次に1条を加える改正規定、第3条、第4条、第7条第1項、第8条及び第13条の改正規定、別表を別表第2とし附則の次に1表を加える改正規定、別表第2の表の前に次のように加える改正規定並びに別表第2に1表を加える改正規定は、平成21年4月1日から施行する。

附 則（平成21年規則第4号）

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則（平成22年規則第37号）

この規則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則（平成24年規則第74号）抄

1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則（平成25年規則第69号）

この規則は、公布の日から施行する。ただし、第7条の改正規定は平成25年7月1日から、第3条の改正規定、第26条から第28条までを削る改正規定、第29条の改正規定及び同条を第26条とする改正規定並びに第30条を第27条とする改正規定は平成26年4月1日から施行する。

附 則（平成28年規則第20号）

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則（平成28年規則第96号）

この規則は、平成28年10月1日から施行する。

別表第1

名称	開館時間	休館日
プラザ（分館を除く。）	午前9時から午後9時30分まで	1 月曜日。ただし、その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「祝日法による休日」という。）に当たるときは、その直後の祝日法による休日でない日 2 1月1日から同月3日まで及び12月29日から同月31日まで
分館	午前9時から午後9時まで	1 月曜日（祝日法による休日並びに名古屋市立の小学校の学年始、夏季、冬季及び学年末における休業日（以下「小学校の休業日」という。）を除く。）。 2 祝日法による休日の翌日（日曜日、土曜日及び祝日法による休日並びに小学校の休業日を除く。）。 3 1月1日から同月3日まで及び12月29日から同月31日まで

別表第2

1 プラザ（分館を除く。）の附属設備

品目	単位	使用料の額	備考
舞台・照明・音響装置	1式	3時間 1,000円	使用はプレイルームに限る。
音響装置	1式	2時間 500円	使用は音楽スタジオに限る。

2 分館の附属設備

品目	単位	使用料の額					
		午前	午後	午前 午後	夜間	午後 夜間	1日
グランドピアノ	1台	1,200円	1,200円	2,400円	1,200円	2,400円	3,600円
たて型ピアノ	1台	500円	500円	1,000円	500円	1,000円	1,500円
16ミリ映写機	1台	1,000円	1,000円	2,000円	1,000円	2,000円	3,000円

備考

1 使用時間の区分は、次のとおりとする。

- (1) 午前 午前9時から午後0時30分まで
- (2) 午後 午後1時から午後4時30分まで
- (3) 午前午後 午前9時から午後4時30分まで
- (4) 夜間 午後5時から午後9時まで
- (5) 午後夜間 午後1時から午後9時まで
- (6) 1日 午前9時から午後9時まで

2 ピアノの調律及び16ミリ映写機の操作は、使用者の負担とする。

別記様式

名古屋市青少年交流プラザ指定管理者指定申請書

年 月 日

(宛先)名古屋市長

所在地
申請者 名 称
代表者氏名 

次のとおり指定管理者の指定を受けたいので申請します。

申 請 者	フリガナ 名 称				
	所 在 地	電話番号			
	代 表 者	フリガナ 氏 名		職 名	
		住 所	電話番号		
	種 別	☐ 法人(種類) ☐ 法人以外の団体			
併 せ て 提 出 す る 書	1 事業計画書 2 定款又は寄附行為及び登記事項証明書(法人以外の団体にあつては、これらに相当する書類) 3 指定管理者の指定を受けようとする者の従業員の数、資本の額その他の経営の規模及び状況のわかるもの 4 その他()				
備 考					

注 該当する□の中にレ印をつけてください。
備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。